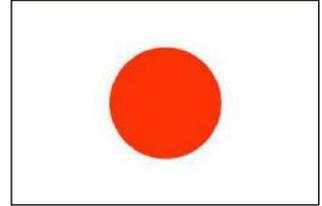




# ウガ広報



From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya

皆さんこんにちは、平成27年度1次隊の理科教育でアフリカのウガンダに派遣されています、小野健太です。皆さんは「買い物に行く」と言えばどこに行くと思ひ浮かべるでしょうか？スーパーやショッピングモールなどでしょうか？今回はウガンダの買い物の様子、マーケットの様子などをお伝えしたいと思います。

## ウガンダの買い物～食糧編～

右の写真はナムトゥンバのタウンのメイン通りにある野菜売り場の様子です。野菜やフルーツなどはこのように地面にそのまま、または敷いたゴザの上において売られています。その日に入荷したものもあれば、数日前からおいてあるものもあるので、自分でよく品定めする必要があります。また、値札などはないので毎回毎回値段交渉を行って買い物をします。よく買うものなどは相場がわかりますが、初めて買うものなど相場がわからない場合は、通常よりも高い値段で買うことになることも... 1年以上過ごしてきたこともあり、ナムトゥンバで購入できるものの値段はおおよそわかるようになってきました。

食糧だけでなく、「値段交渉」はウガンダにおける買い物で必要なスキルになります！外国人に対しては通常料金よりも高めに販売してくる場合があります。しかし、店員と打ち解けたり、顔なじみになることで、逆に安くサービスしてくれる...なんてこともあり、最近では買い物の楽しみの一つの要素にもなっています(笑)



ウガンダではフルーツも多く売られています。時期によってマンゴーやパイナップルなどがかなりの安値で売られます。しかし、ここでも「品定め」の問題が... ウガンダ人の多くの人が、日本人の感覚では「熟れていない」果物を収穫して食べます。そのため、市場にもまだ熟れていない酸っぱい果物が並んでいることが多く、自分自身失敗したことが何度かあります(笑) 自宅前にもマンゴーの木があるのですが、よく生徒たちがまだ青い、実の小さいものを探って食べている光景を見かけます。そして、その熟れていない実を先生への差し入れとして持ってくることもあり、一緒に食べます.....

右の写真はカンパラのマーケットの様子。カンパラでも地面に食べ物を直においていたり、値段交渉したりと売り方に違いはありませんが、流石首都だけあり、買える食べ物の種類は豊富です。値段に関しては地方よりも少し高いことが多いですが、品質はしっかりしていると思います。また、カンパラのマーケットでは店が所狭しと展開されており、そのうえ沢山の買い物客がいることから、常にスーパーなどの特売時並みの込み具合です(笑) しかし、どの店も同じような品揃えで、同じ値段なので、店を選ばなければすぐに買い物は終わります...





ウガンダの街並みを歩いてみると、**露店をよくみかけます**。それらのお店は、**揚げ肉や焼きウモロコシ・焼きバナナ**など様々な種類があります。**中でも目を引くのがチャパティと呼ばれる食べ物**。小麦粉とベーキングパウダーと少量の塩を水でこね、大量の油を使いながら鉄板で焼いたもの。薄く伸ばした生地を素手で熱々の鉄板に押し付けて作る工程は**圧巻**です(笑) また、**溶き卵に玉ねぎやトマトを加えて焼き、それをチャパティで包んだ「ロレックス」という食べ物もよく食べられています**。名前の由来は「**卵巻き:ロールエッグス→ロレックス**」らしいです。店によって入れる野菜や味つけが違うので、ウガンダ人も購入するお店を選ぶんだとか...ちなみに入れる卵の数や、チャパティの枚数なども決めることができ、自分好みのロレックスを注文することができます。

**マーケット・デイ**

ウガンダには町ごとに、決められた曜日(ナムトゥンバでは火曜日)にマーケットデイと呼ばれる日が設けられており、その日は**沢山の店が並びます**。右はカンパラのマーケットデイの様子。中心地に**交通規制がかかり、道の真ん中にもお店が並んでいます**。同じような店がたくさん並ぶので、特別なものが買えることは少ないですが、掘り出し物もあったりするので、時間がある日は**ブラブラと店を見て回ると面白い**です！特にカンパラでは様々な部品を売り出すお店もあるので、そうした物から理科の教材や、工作の材料を探したりするのもマーケットの楽しみの一つです。



**ソガ語と一緒に数を数えてみよう！**

<b>ンダラ (1)</b>	<b>イビリ (2)</b>	<b>イサトゥ (3)</b>	<b>イナ (4)</b>	<b>イターヌ (5)</b>
<b>ムカーガ (6)</b>	<b>ムサンブ (7)</b>	<b>ムナーナ (8)</b>	<b>ムイェンダ (9)</b>	<b>イクミ (10)</b>

ウガンダのマーケットの様子、いかがだったでしょうか。日本とは違う買い物の仕方に、最初こそ戸惑いましたが、現地語での会話などを少しずつ覚えていくと楽しみの一つになりました。最後に紹介した数の数え方、単語としてはもちろん、指の折り方も日本と違って面白いです。日本でいう「**オクサーサイン**」はこちらでは「**3**」と認識されてしまいます(笑) ちょっとしたことですが、こうした表現をしっかりと使えるようになるだけで、「え！ソガ語知ってるの!？」と驚かれ、コミュニケーションの幅が一気に広がることができます！